

平成24年度 一般会計当初予算説明資料

4 款 衛生費

4 項 医薬費

2 目 医務費

医療政策課（内線：7188）

（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
（新）被ばく医療体制整備事業	79,240	0	79,240	79,240				
トータルコスト	84,068千円（前年度 0千円） [正職員：0.6人]							
主な業務内容	被ばく医療機関の整備補助、研修・訓練の実施、放射線測定機器、安定ヨウ素剤等の購入							
工程表の政策目標(指標)	安心安全な医療提供体制の構築							

事業内容の説明

1 事業の目的・概要

福島第一原子力発電所事故を踏まえ、島根原子力発電所に係る県内の緊急被ばく医療体制を整備し、県民の安全を守る。

2 主な事業内容

（単位：千円）

被ばく医療機関の指定及び被ばく医療機関等に必要な施設、設備、物品の整備		71,240
初期被ばく医療機関	サーベイメータ、個人線量計、汚染防護資機材（防護服、防護マスク等）を整備する。 ※公立の救急告示病院等の指定を検討中である。	20,240
二次被ばく医療機関	サーベイメータ、個人線量計、汚染防護資機材（防護服、防護マスク等）を整備する。 ※県内2箇所程度の指定を検討中である。	13,500
スクリーニング用	サーベイメータ、個人線量計、汚染防護資機材（防護服、防護マスク等）を整備する。	37,500
被ばく医療の研修及び訓練等の実施	被ばく医療体制に携わる関係者の知識と技能の維持・向上を図るため、研修及び訓練の実施や関係者間の情報共有等を図る協議会を開催する。	6,400
安定ヨウ素剤の備蓄	放射性ヨウ素の取り込みに伴う甲状腺の被ばくを低減するため用いる安定ヨウ素剤を備蓄する。	1,500
事務費	通信費、旅費、消耗品等	100
合計		79,240

※ホールボディカウンタについては、当面、移動式の既存のもので対応するが、将来的には二次被ばく医療機関への整備を検討する。

3 これまでの取組状況、改善点

【被ばく医療体制の検討状況】

○平成23年11月24日：医師会、災害拠点病院、消防局、県をメンバーとする「災害時の医療救護体制ワーキンググループ」において検討

○平成24年1月31日：鳥取県地域医療対策協議会において検討